

# 事業報告

## 令和3年度 大分県公民館テーマ別研修会①

日時：令和3年7月16日（金）13：00～15：40

会場：別府市中央公民館大ホール 参加者：49名

### <研修趣旨>

少子高齢化による人口減少や核家族化の進展の中、地域の活性化のために公民館が果たす役割について、事例に学ぶとともに実践的な知識・技術の習得を図ることにより公民館職員としての資質の向上を図る。

### <研修内容>

#### ○講義：「地域づくりにおける公民館の果たす役割」

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授 岡田 正彦 氏

少子高齢化や個人主義化の中で、公民館にとって地域の活性化のためには学校、NPO、企業との連携が必要。特に初期段階においては連携・協働する当事者として、取組への「熱」と「互恵性」を確保できる丁寧な合意形成が成功の鍵と指摘。公民館職員が意欲的に前向きに取り組みを進めることが大切。

#### ○事例発表：「公民館活動による地域の活性化」

発表者：国東市熊毛地区公民館（第73回優良公民館（文部科学大臣表彰））

日出町大神地区公民館（令和2年度大分県公民館連合会表彰（優良公民館））

熊毛地区公民館では「人が集い 人が互いに助け合えば 人が育つ」をスローガンに掲げ、運営部・体育部・健全育成部・文化部からなる専門部が様々な活動を企画し、地域の活性化に貢献している。大神地区公民館では公民館運営審議会・自治公民館連絡協議会・体育部長会・子ども会育成会が組織化され、小中学校の校長も参加する運営がなされている。

#### ○ワークショップ

講師：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター教授 岡田 正彦 氏

「開かれた関係でつながり一緒に取り組む」（連携・協働）ことについて、①すでに取り組んでいる場合それを振り返って成果や課題を確認する、②まだ取り組んでいない場合新しく立ち上げてみたい連携・協働の取組を検討することをねらいとしたワークショップを実施。



【主催者あいさつ】公民館連合会事務局長  
後藤県社会教育課長



【研修1】講義：「地域づくりにおける公民館の果たす役割」  
講師：大分大学教育マネジメント機構  
基盤教育センター 教授 岡田 正彦 氏



【研修2】事例発表：「公民館活動による地域の活性化」  
発表者：国東市熊毛地区公民館 溝井 浩二 館長 日出町大神地区公民館 姫野 秀宇 主任  
森廣美砂子 主事



ワークショップ

## ＜参加者感想＞

- 公民館の果たす役割の内容を聞き、職場での個人のスキルアップの段階を聞き、講座の内容の見方を改めて考えてみたいと思いました。地域住民の多様な人との交流をもち、市民の声を聞く事から始めたいと思います。
- 岡田先生の講義が参考になりました。できる小さな課題解決を実行する、それから次のステップに行くことが大切。連携・協働のメリットや取組のアドバイスがありました。
- 公民館活動は“住民が主役”その視点を忘れずに活動したいものです。
- 事例発表はとても参考になる。
- このようなワークショップもおもしろいと思いました。自分としての考え、たくさんの方の意見を聞く手段の勉強となりました。
- 少し時間が足りなかった（特にワークショップ）。じっくりと取り組みたい。
- 自治体の力がなくなり、地域の公民館は市職員がら切り離され、町づくり協議会に委託することになることは、例えばですが、理想的な方向なのでしょうか。
- 地区公民館か自治公民館に対する研修なのか、全て対応か、観点がぼやけているように思われました。
- 移動と食事時間を考慮した開始時間にすべきではないか。